

根郷地区の概要

地区面積 17.46 Km²

(市面積 103.6 Km²)

地区人口 25,114人

(市住民基本台帳人口

175,601人)

人口密度 1,438人/Km²

(市人口密度 1,695人/Km²)

平成21年3月末現在

根郷地区は従来農村地帯であったが、北部にJR佐倉駅、南部に国道51号と交通の便や地理的条件に恵まれて、昭和35年を機とした高度経済成長の波にのった開発が行われ、その一部が工業地域に指定されて昭和40年頃から大小の工場が次々に進出してきた。また、昭和47年に東関東自動車道が開通し、一層都市化に拍車をかけた。以前の山林、田畑は次々と宅地造成され、新しい家々が建ち並ぶ住宅地になり、新しい住民が多くなってきた。

地域全体をみた場合、農村地域と住宅地域、さらにはJR佐倉駅周辺、あるいは県道沿いの商店、工業団地といった地域構成となっている。根郷地区の面積は市全体の16.9%に当たる1746ha、人口は14.3%に当たる25,114人であるが、今後も人口の増加が見込まれている。近年の宅地開発等によって、藤治台・大作・大崎台・山王・春路・表町等の新しい大字地名が加わり、新しい麓の列なる美しい町並が広がっている。しかし、南部地域を中心に自然豊かな山野・田畑も多く残されている。また、学校は根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校、千葉敬愛短期大学があり、学園地区としても注目されている。

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として根郷地区の実態をふまえ、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努める。

幅広い年齢層の幅広い要望に答える多様な事業を展開する。

地域の人材の力を地域に還元する橋渡し役となるように努める。

郷土意識の高揚、社会問題への関心の喚起に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

(1) 施設の提供

提供日時 月・火・日曜日（第2・4月曜日は休館） 9：00～17：00

水・木・金・土曜日 9：00～21：30

使用の受付は原則として、2ヵ月前の月初めから予約開始
（予約開始日の午前9時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし）

休館日 毎月 第2・4月曜日・年末・年始

(2) 備品の提供

館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行う。

佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱う。

2. 学級・講座・講習会・見学会

参加者の対象別に家庭教育、成人教育、高齢者教育の各事業にわけて実施する。

3. その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施する。

2 . 公民館の利用状況

年度別利用状況

年度 区分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
利用件数	3,270	3,177	3,266	3,320	3,285
利用人数	37,421	35,786	37,124	36,299	35,500
開館日数	333	333	333	334	333

事 業 の 部

領域	事業名	内 容	対 象	期間・回数
家庭教育	ぼっぼちゃんくらぶ	親子の関係を見直す機会となるように親子で一緒に運動や絵本、手遊びなどを楽しみ、親同士の交流を図った。父親参加の日(公開日)各コース2回を開催した。参加者のきょうだいを、保育ボランティアで対応した。	2歳児と保護者 40組 (20組×2コース)	前期：5月～7月 後期：10月～12月 各コース12回
	親子ふれあい教室	乳幼児が体を動かして遊んで楽しみ、また乳幼児を持つ親の仲間づくりの場、情報交換の場として実施した。	幼児と保護者	8月 1回
	家庭教育共通事業(食の大切さ)	正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さ等を学んだ。	小学生以上の保護者	1月 1回
青少年教育	親子交流	そば打ちなどの調理体験を通し、親子交流を図った。	小学生と保護者 20人	年間 2回
	通学合宿	子ども達に生活体験を通して、生きる力を身につけるとともに貰い湯等で地域の人達との交流を図った。	小学生4～6年 20人	6月22日～6月25日(3泊4日)
	体験・ものづくり	おもしろ科学実験隊、わくわくキッズなど体験型の事業を開催した。	小学生 16人	年間 6回
	映画・音楽鑑賞会	名作映画会、音楽演奏会などを開催し青少年の健全育成を図った。	幼児～小学生	夏休み・春休みに3回開催
	佐倉っ子塾 共通講座	環境意識を育む講座を実施した。(印旛沼や鹿島川の水を使った水質検査や浄化の実験・体験)	地区の小学生 20名	8月～10月 2回
	佐倉っ子塾 共通講座	創造力を育む講座を実施した。(水彩画を描くことにより創造力育成を図った)	地区の小学生 20名	8月 2回
成人教育	健康づくりの講座	健康増進のためウォーキング講座を実施した。	成人 40人	10月 2回
	人権講座	いじめや児童虐待など旬な問題を取り上げ、人権教育を実施した。	成人 30人	12月 1回

	パソコン関係講座	初心者を対象とした各種パソコン講座を実施した。	成人各回 32 人	年間 8 回
成人教育	パソコン自由利用	ボランティアを配置し、パソコン初心者が自由にパソコンに触れる場を提供した。	成人各回 20 人	年間 12 回
	地域づくり入門講座	消防署・警察の協力を仰ぎ、地域住民の防災意識を向上させる機会とした。	成人 20 人	1月～3月 2 回
佐倉学	体験・ものづくり講座	体験型・参加型の講座 地元根郷のこんにゃく芋を使った料理講座を実施した。	成人 20 人	年間 3 回
	根郷探訪	郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び郷土愛を高め、地域を見直すために地元住民中心に講師として講座・散策会を実施した。	成人 20 人	年 3 回
	佐倉学入門講座 近代の佐倉講座	近代の佐倉をテーマに様々な郷土の資料を活用しながら明治・大正・昭和の変遷を学んだ。	成人 100 人	6月～7月 2 回
高齢者教育	寿大学	健康、地域、文化等幅広い分野を学びながら、レクリエーション活動などで参加者同士の交流を図った。	60 歳以上 120 人	5月～3月(8月を除く) 10 回
団体育成	根郷地区社会教育関係団体への援助	南部地区子ども会育成会連絡協議会と、根郷地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援した。	該当団体	通年
	定期利用者懇談会	公民館の活動について理解を求めるとともに、利用団体からの意見を聞き、また、グループ活動の意義の理解に努めた。	利用団体	4,5月 2 回
人材育成	学生ボランティア育成	地区内の中・高・大学生に主催事業への協力を呼びかけ若年層にも地域の輪を広げた。	中・高・大学生	随時

	講師の公募	地域の人材を活用し、公民館事業を進めることをめざして講師を公募した。	成人	随時
	ボランティアの育成	主催事業や施設的环境美化に協力してくれるボランティアを公募した。	成人	通年
広報活動	根郷公民館だより	公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。	根郷地区各世帯・各事業所	4月・9月 10,900部×2回
図書事業	図書の貸出・返却	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行った。	幼児～成人	通年 1人10冊 2週間まで
その他	夏休み自習室	夏休みの期間中、学生等が学習に利用できる部屋を開放した。	小学生～成人	7月～8月 10人×40日
	卓球室開放	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供した。	幼児～成人	4月～3月 第1日曜日 12回

1 . 家庭教育事業

ぼっぼちゃんくらぶ

開設趣旨 幼児の想像力や豊かな心を育てるうえで重要な役割を果たす絵本。絵本の読み聞かせの手法や絵本の楽しさを学ぶ。工作や遊びなどを通して、親子で楽しむ機会を提供する。また、体を動かすことの楽しさや同年齢の友達とふれあうことで、幼児期の人格形成を促すことを目的とする。また、地域にかえっても話し合えるような参加者同士の仲間づくりを図り、子育てにおける親と子の関わりを考える。

対 象 前期 平成17年4月2日～9月30日生まれの子と保護者20組 40人(延べ356人)

後期 平成17年10月1日～18年4月1日生まれの子と保護者20組 40人(延べ352人)

学習目標 絵本の読み聞かせを通して幼児の想像力や豊かな心を育てる。また、運動や遊びを通して、親子の関係、地域とのかかわり、子育てについて考える。

指 導 者 前期 おはなし会メープル 大阪谷由美子・高石恵子・その他会員(えほん)・ニッポンランナース 伊藤 友香、坂上 千佳(体操)

後期 おはなし会メープル 大阪谷由美子・高石恵子・その他会員(えほん)ニッポンランナース 伊藤 友香(体操)

開催期間 前期 平成20年5月8日(木)～7月10日(木)

後期 平成20年10月2日(木)～12月4日(木)

午前10時から11時30分まで 前期12回 後期12回

保育ボランティア ちゅんちゅんくらぶ 12人

学習プログラム

(前期)

回数	日 時	テ ー マ	学 習 内 容	講 師
1	5月8日(木)	お花が咲いた!	絵本の読み聞かせをし折り紙でお花を作った。	おはなし会メープル
2	5月15日(木)	みんなでさかなつり	絵本の読み聞かせをし、折り紙で魚を作った。(色をぬる、切る、動きをつける)	おはなし会メープル
3	5月18日(日)	絵本とお父さん～さくら庭園～	絵本の読み聞かせをし、青空の下で思いっきり走った。お父さんに紙飛行機を作ってもらった。	おはなし会メープル
4	5月22日(木)	手型をとろう	絵本の読み聞かせをし、手型をとり、どのくらい大きくなったか確かめた。	おはなし会メープル
5	5月29日(木)	むくむくお化けで遊ぼう	絵本の読み聞かせをし、牛乳パックで、不思議なお化けを作った。	おはなし会メープル
6	6月5日(木)	電車ごっこ	絵本の読み聞かせをし、手作りのきっぷで電車ごっこをした。	おはなし会メープル
7	6月12日(木)	ボールを使って	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。ボールで遊びました。	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏

8	6月19日(木)	タオルを使って	タオルを使って、楽しく体操しました。	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏
9	6月26日(木)	フープを使って	フープで楽しく体操しました。	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏
10	6月29日(日)	新聞紙を使って ～ホール～	新聞紙を使っていろいろな遊びをしました。	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏
11	7月3日(木)	器具を使って	マット、平均台、跳び箱にチャレンジしました。	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏
12	7月10日(木)	みんなで よーいドン	ミニ運動会をしました。	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏

(後期)

回数	日 時	テ ー マ	学 習 内 容	講 師
1	10月2日(木)	お花が咲いた	絵本の読み聞かせをし折り紙でお花を作った。	おはなし会 メープル
2	10月9日(木)	みんなで さかなつり	絵本の読み聞かせをし、折り紙で魚を作った。(色をぬる、切る、動きをつける)	おはなし会 メープル
3	10月16日(木)	手型をとろう!	絵本の読み聞かせをし、手型をとり、どのくらい大きくなったか確かめた。	おはなし会 メープル
4	10月19日(日)	青空の下で ～さくら庭園～	絵本の読み聞かせをし、青空の下で思いっきり走った。 お父さんに紙飛行機を作ってもらった。	おはなし会 メープル
5	10月23日(木)	むくむくお化け で遊ぼう	絵本の読み聞かせをし、牛乳パックで、不思議なお化けを作った。	おはなし会 メープル
6	10月30日(水)	電車ごっこ	絵本の読み聞かせをし、手作りのきっぷで電車ごっこをした。	おはなし会 メープル
7	11月6日(木)	ボールを使って	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。 ボールで遊びました。	伊藤 友香 氏
8	11月13日(木)	タオルを使って	タオルを使って、楽しく体操しました。	伊藤 友香 氏
9	11月20日(木)	フープを使って	フープで楽しく体操しました。	伊藤 友香 氏
10	11月27日(木)	器具を使って	マット、平均台、跳び箱にチャレンジしました。	伊藤 友香 氏
11	11月30日(日)	新聞紙を使って ～ホール～	新聞紙を使っていろいろな遊びをしました。	伊藤 友香 氏
12	12月4日(木)	みんなで よーいドン	ミニ運動会をしました。	伊藤 友香 氏

講座を終えて

絵本と体操というテーマの違うものの組み合わせ。子どもの性格により、興味の違いがみられるが、情操教育と、からだの発達を考えた講座。日曜日の家族参加の日は、父親、祖父母、参加児童の兄弟などで多くの参加となり、青空の下だと遊びの幅も広がり、皆とても伸び伸びしていた。

この講座を一つの契機として、2歳児という幼児期を、親としてどう子育てすべきか、楽しさや悩みも話しあいながら、同じ子どもを持つ保護者や子どもたち同士の交流を通じて、今後の家庭教育に生かして欲しいと思う。

お母さんと遊ぼう - 親子ふれあい体操と友達づくり

開設趣旨 幼児の心身の健全な発育を促す。

内 容 親子のふれあいと友達づくり

対 象 幼児と保護者 20組

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	8月7日(木) 10:00~11:30	親子のふれあい 体操と友達づく り	親子で体操をしながら、親子、友達との交流を図った。	佐藤由利子 氏 外3名	21組

講座を終えて

親子で体操を楽しみながら、少子化の中で希薄になりがちな同年齢の幼児とその保護者同士の交流を深める機会となった。また、工作は、ダンボールで「ドラえもん列車」を作り親子で楽しみました。

家庭教育共通事業「食の大切さ」

開設趣旨 成長期の小学生を持つ保護者を対象に「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学び、調理実習をしながら楽しく身につける。

内 容 正しい「食」の知識について学ぶ。

対 象 小学生を持つ保護者 20人

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	人数
1	1月20日(火) 9:00~13:00	成長期の食生活について考える	「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学んだ。	栄養士 六崎美知代 氏	16人

講座を終えて

はじめの講義では、個食ではなく、家族みんなで食卓を囲むことや食事の大切さなどについて学ぶことができた。

調理では、普段使っている食材を、ちょっとしたアレンジで、いつもと違う食卓になることを知り、受講生は、みな驚いていた。

これを機会に継続的に食生活について考えていてもらいたい。

2. 青少年教育事業

親子交流

開設趣旨 親子で調理体験を通して、親子の交流を図る。

内 容 親子クッキング

対 象 小学生と保護者 20人

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	人数
1	8月19日(火) 9:30～13:00	親子クッキング	米粉を使った料理作り	根郷中学校栄養士 岩井 智子 氏	21人
2	1月24日(土) 9:30～15:30	親子クッキング	親子でそば打ち体験	根郷そば道場	27人

講座を終えて

学校給食にも取り入れられている佐倉産の米粉を使って、ハヤシライスや蒸しパンなどを作りました。野菜サラダなども加えた、栄養バランスの良いメニューは保護者にも好評でした。家庭においても、食事作りを通して親子のコミュニケーションが深められればと思います。

そば打ちについては、昨年に引き続き、公民館利用団体の「根郷そば道場」の方々が指導にあたってくださいました。参加者からは、そば打ちを通して、子供たちが日本の文化に触れる良い機会にもなったとの感想もあり、機会をとらえて郷土料理なども取り入れていきたいと思っています。

冬休み子ども音楽コンサート(クリスマス音楽会)

開設趣旨 音楽に親しみを持ち、音楽を通じて友達の輪を広げ、青少年の健全育成を実現する。

対 象 幼児、小学生、成人 50人

学習内容 根郷地域の子どもたちを中心に、クリスマスの楽しいひとときをすごせるよう、音楽による催し物を行う。

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	12月23日(火) 13:30～15:30	みんなで音楽を楽しもう	音楽をとおして青少年育成を図った(市民ボランティアによる親子向けコンサート)	佐倉ウィンドアンサンブル	46人

講座を終えて

市内のボランティアグループ(佐倉ウィンドアンサンブル)による演奏会で、今年6回目。クリスマスやディズニー音楽のメドレーを中心に演奏会を実施しました。今年は、普段親と子のふれあいが少なくなってきたこの時代に、少しでも親子のふれあう機会を作り、心の通じ合う家庭になっていただければと実施しました。また、子供たちに音楽をとおして感受性豊で、健やかに成長してもらう狙いも含めています。

子ども映画鑑賞会

開設趣旨 名作映画会として実施し、映画をとおして友達の輪を広げ、青少年の健全育成を実施する。

対象 小学生 2回 各50人

学習内容 根郷地域の子どもたちを中心に、映画鑑賞会を実施した。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	参加人数
1	8月26日(火) 9:30~正午	子ども映画会	子供向け名画鑑賞を実施した。 ・トムとジェリー	45人
2	3月26日(木) 10:00~11:30	子ども映画会	子供向け名画鑑賞を実施した。 ・ピピとべないホテル	43人

講座を終えて

地域の子供たちを対象に夏休み、冬休みを利用して映画鑑賞会を2回実施しました。名作映画を通して、子供たちに友情の大切さや思いやりの心を育んでもらえたらと思います。

おもしろ科学実験隊

開設趣旨 子どもたちが五感のすべてを使って、遊びながら科学の楽しさ、不思議さに触れる。

対象 小学4~6年生 16人

開催期間 平成20年6月7日から12月6日までの全6回

学習プログラム

回数	実施日時	講師	内容	会場	参加人数
1	6月7日(土)	村上中学校教諭 西澤 保雄 先生	方位磁石を作った カルメ焼きを作った 色の変化の実験をした(ミニ花火を作った)	調理室	14人
2	7月5日(土)	筑波大学准教授 小林 正美 先生	スプーンとフォークを使って、 実験をした アイスモールドを使って氷点下の世界を体験した。	調理室	15人
3	8月9日(土)	元臼井南中学校 校長 土井 仁先生	温度の変化の実験をした ろうそくの変化について調べた ミニカイロを作った	根郷中学校 理科室	12人
4	9月6日(土)	千葉工業大学教授 中田 昌宏先生	「浮いてこい」を作った	調理室	9人

5	11月1日(土)	千葉工業大学教授 中田 昌宏先生	鉄と銅についての実験をした	学習室1	13人
6	12月6日(土)	筑波大学准教授 小林 正美 先生	静電気の実験をした ストローダーツを作った 空き缶笛を作った	学習室1 プレイルーム	16人

講座を終えて

今年で9年目となる「おもしろ科学実験隊」。小学校高学年ともなればサッカーなどのスポーツ活動や習い事などで忙しくなる年齢ですが、16名の科学大好きな児童がこの6回シリーズに集まってくれた。

どの講師も子どもたちの期待にこたえる不思議で楽しい実験を用意してくださり、時間延長も度々あり、大変充実した講座となった。

2 1 佐倉っ子塾

共通講座 「環境講座」

印旛沼と水辺観察

開設趣旨 子供たちに地域をよく理解してもらうとともに地域の環境も理解し、故郷を大切に思う心を育てる。

対象 小学生 各20人

学習内容 印旛沼や鹿島川の水などを使って環境意識を育む講座とする。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	8月18日(月) 10:00~16:30	水辺観察会	印旛沼に注ぐ水の流れや、生き物について学んだ。	(財)千葉県環境財団	18人
2	10月4日(土) 13:00~15:00	印旛沼の水を調べてみよう	印旛沼の水を浄化する実験を行った。	教諭 西澤保雄 氏	15人

講座を終えて

郷土の印旛沼や環境をよく理解してもらおうと企画・実施した講座である。

佐倉市の自然財産の象徴ともいえる印旛沼を取り上げ、子供たちにこの財産を残すとともに、さらには子供たちにこの自然の財産の保存を託していく願いを込めて実施しています。今回は、印旛沼の水源域と中流域に生息する水生生物について、現地で観察したり、上手繰川植生浄化施設を見学し、植物による水の浄化機能を学びました。また、各流域の水質を比較するなど、印旛沼の抱えている問題点などについて学びました。

共通講座 「想像力養成講座」

子ども水彩画教室

開設趣旨 創造力を育てる。

対象 小学生 20人

学習内容 絵を描くことにより、子どもたちの創造力を育てる。また、絵画を通して文化の理解を深めてもらう。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	8月4日(月) 10:00~12:00	水彩画教室	絵を描く時の基本編 光が当たる所と影の所を観察した。	ワールサークル (公民館利用サークル)	15人

2	8月8日(金) 10:00~12:00	水彩画教室	光が当たる所と当たらない所を意識して着色をした。	ワールサークル (公民館利用サークル)	11人
---	------------------------	-------	--------------------------	------------------------	-----

講座を終えて

子どもたちの、創造力を育てようと企画した講座です。絵を描くことにより、物には、光が当たり明るく見える部分と、光が当たらず、暗く見える部分があることを観察し、どうしたらその表現を画き表しことができるかを学びました。今回は根郷公民館で活動をしている団体(ワールサークル)のご協力のもと、子どもたちに絵をとおして、創造力を育てるお手伝いをさせていただきました。この講座が、少しでも子供たちの創造力を育てるのに役立てればとおもいます。また、佐倉の文化にも興味を持って頂けたらと願うところです。

3 . 成人教育事業

健康づくり講座

開設趣旨 ウォーキングを中心とした運動方法を学ぶことにより、健康増進を図るとともに、参加者同士の交流を深める。

対 象 成人 20人

学習目的 中高年を対象にした健康増進を図る。

開催期間 2回

学習プログラム

回数	日 時	テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加人数
1	10月18日 (土)	ウォーキング 教室	良い歩き方を学び、効率的な運動方法について理解を深めた。	NPOニッポンラン ナーズ 北 晃 氏	20人
2	10月25日 (土)	ウォーキング 教室	ストレッチやウォーキングの実技を行い、正しい筋肉の使い方を学んだ。	”	21人

講座を終えて

NPO 法人ニッポンランナーズより講師を迎え、安全で効果的な運動であるウォーキングについて学びました。第1回は効率の良い歩き方などを学び、2回には、実際に屋外でウォーキングなどを行いました。参加者からは「受講後、歩き方に変化が起きた」、「健康のためにウォーキングを続けていきたい」などの感想や、もっと回数を増やしてほしいという声も多数あり、健康に関する関心の強さを感じました。今後もニーズに合わせた講座となるようにしたいと思います。

人権講座

開設趣旨 いじめと子どもの人権について考える。

対 象 成人 各15名

学習目的 いじめについての実態を知り、子どもたちを守るために大人たちが何をすべきなのかについて学ぶ。

学習プログラム

回数	日 時	テ ー マ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	12月10日(水) 10:00~12:00	いじめと子供の人権 ~子供たちの心と命 を守るために~	いじめの実態を知り、子どもの人権を守るための対策について学ぶ。	NPO 法人ジェントルハート プロジェクト理事 武田 さち子 氏	15人

講座を終えて

いじめ問題解決を目指す NPO 法人ジェントルハートプロジェクトから講師を迎え、いじめの実態・対策について学びました。被害者側の視点に立ち、いじめ問題の解決には、大人たちが加害者をつくり出さない社会をつくるのが大切であるとのお話しには認識を改にしました。

体験・ものづくり講座

開設趣旨 根郷地区の人材を活用し、地元の食材を使用したモノづくりを通じて市民の交流との交流と地域への関心を高める。

対 象 成人 各20名

学習目的 地域の人材を活用し、自ら学び、地域づくりにつなげる。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	10月12日(日) 9:30～13:00	染め物にチャレンジしよう！ (ハンカチ・スカーフ)	泥染め・ろうけつぞめ・藍染・いろいろな染めに挑戦して、条件によって微妙な発色の染めを体験した。	千葉高校教諭 川上義孝氏	15人
2	12月12日(金) 9:30～13:00	こんにゃく作りに挑戦！	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦した。	地域指導者	26人
3	2月15日(日) 9:30～13:00	染め物にチャレンジしよう！パート	前回の体験を生かし、Tシャツ染めに挑戦し、型・デザインでどのように発色するかを体験した。	千葉高校教諭 川上義孝氏	13人

講座を終えて

こんにゃく作りについては今年度で3回目となり、地域指導者の協力により、地元で取れたこんにゃく芋を使用してのこの講座も定着してきた。また、受講生の要望により地域指導者によるこんにゃく芋の育て方講座にも発展した。

パソコン講座

開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

対 象 成人 各回15人

開催期間 年4講座 全8回

学習プログラム

回数	実施日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	6月6日(金)	まったくはじめてのパソコン	「パソコンとは...」から各機能の説明・文字入力までを学んだ。	大木 敏男氏 外4人	13人
2	6月7日(土)	まったくはじめてのパソコン	「パソコンとは...」から各機能の説明・文字入力までを学んだ。	森 克子氏 外4人	13人
3	9月5日(金)	インターネット活用講座	インターネットの基礎から普段の生活に便利なサイトの活用術までを学んだ。	坂井 稔氏 外3人	12人
4	9月6日(土)	ワード入門	ワードの基礎について学んだ。	橋本 雅之氏 外4人	14人

5	11月7日(金)	ワードで年賀状を作ろう	年賀状の作成方法について学んだ。	大木 敏男 氏 外4人	13人
6	11月8日(土)	ワードで年賀状を作ろう	年賀状の作成方法について学んだ。	森 克子 氏 外4人	11人
7	2月6日(金)	ワードで写真入り名刺を作ろう	名刺の作成方法について学んだ。	橋本 雅之 氏 外4人	13人
8	2月7日(土)	エクセルで住所録を作ろう	エクセルの基礎と住所録の作成方法について学んだ。	坂井 稔 氏 外4人	14人

講座を終えて

毎回定員を超える申込みがあり、抽選を行うほどでした。(当日欠席有)

どの受講生も熱心に取り組んでいて、講座が終わるころには、かなり上達しているようでした。ここで行うのは、基礎的なことなので、これから各自学習していってほしい。

パソコン自由利用

開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

対 象 成人 各回20人 (延べ62人)

開催期間 毎月最終日曜日 午前10時～正午/午後1時～午後3時

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師
12	毎月最終日曜日	情報活用能力の育成を行う	各自で教材を持ち込み、各で学習した。わからない所をボランティアに質問をした。	パソコンボランティア各回3人

講座を終えて

どの受講生も熱心に取り組んでいて、講座が終わるころには、かなり上達しているようでした。ここで行うのは、基礎的なことなので、これから各自学習していってほしい。

地域づくり入門講座

開設趣旨 消防署、警察署の協力を仰ぎ、地域住民の防災意識の向上を図る。

対 象 成人 20人

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	1月31日(土) 15:00～15:30	身近な犯罪から身を守るために	防犯講話	佐倉警察署生活安全課 竹畑 啓吉 警部補	17人
2	3月9日(月) 9:00～10:30	消火器の使い方を学ぼう	初期消火訓練	佐倉消防署 職員	17人

講座を終えて

防犯については、現役警察官から振り込め詐欺や空き巣など身近に発生している犯罪の実態を聞き、被害者にならないためには、日頃からの防犯意識が大切であることを学びました。

防災については、消防署職員の指導のもと、火災が起きた時に安全・確実に初期消火に当たれるよう、消火器による消火訓練を実施しました。

3 1 佐倉学講座

佐倉学入門編

郷土史講座

開設趣旨 近代の佐倉を中心として学び、根郷地区をよく知ってもらおうと企画実施しています。特に入門編では佐倉の歴史に興味を持って頂くことを狙っています。この講座がこれから地域の歴史を学ぼうとしている人の手助となることを目的としています。

対 象 成人 各60人

開催回数 2回

学習プログラム

回数	日 時	テ マ	学 習 内 容	講 師	人数
1	6月7日(土) 13:30~15:30	近代の佐倉1 近世末期の医療	江戸末期から明治にかけて佐倉で行われていた医療の様子を学んだ。	千葉県郷土史研究協議会 会長 樋口 誠太郎 氏	22人
2	7月6日(日) 10:00~12:00	近代の佐倉2 大正期の根郷村	当時の農会活動を中心に学び、根郷地区の発展の一部を学んだ。	中村 正弘 氏	26人

講座を終えて

佐倉市の歴史入門講座として地域の歴史に興味を持って頂けるよう講座を実施しています。近代の佐倉1の内容としては、幕末の佐倉藩の文化を見てみると全国諸藩の中でも西洋医学に特色がありました。それは当時佐倉藩では藩医は長崎に行きオランダ医学を学んでいたことからいえることではないでしょうか。そのような下地のあったところに、佐藤泰然を向かい入れ、西洋医学が進んでいったことを学びました。

近代の佐倉2では、根郷村は鉄道の開通とともに栄えていった。明治時期の産業(農業)は、いい時期ではなく、大正期になって良くなってきたと話していました。当時の根郷村の農業は70パーセントは米作中心で、他に印旛郡農会の指導、推進のもと麦作りなどにも力を入れていたことを当時の根郷村地区別奨励作物資料などをもとに説明していました。

この講座は入門編として実施しているので、地域の歴史に興味を持って頂くことを目的とし、地域発展の歴史をわかりやすく講義してもらおうよう努めています。郷土史は学ぶ内容が豊富で参加希望者も多く、講座生は熱心に話しを聞いています。歴史講座は、毎年中高年を中心に根強い人気があり、郷土の学習講座として今後も継続的に実施していく必要があると思います。

根郷探訪

開設趣旨 郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び散策を交えて、郷土史を理解する。

対 象 成人 各20人

学習目標 郷土の歴史・文化・自然をテーマに散策を行い、歴史の街佐倉について理解を深め、郷土愛の育成を図る。

開催回数 3回

学習プログラム 前期

回数	日 時	テ マ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	4月20日(日) 9:30~12:00	木野子地区散策	諏訪神社を起点に木野子周辺を散策し、春の野草を探しながら地域の身近な自然に親しんだ。	千葉県自然観察 指導員 近藤維久子 氏	16人
2	10月28日(火) 9:00~12:00	寺崎・太田地区 散策	蜜蔵院、熊野神社、寺崎城址など根郷地区の歴史散策を行った。	佐倉城址公園 ボランティア	11人
3	11月28日(金) 9:00~12:00	六崎から佐倉城 址散策	六崎地区周辺から佐倉城址までの史跡散策を行った。	佐倉城址公園 ボランティア	8人

講座を終えて

根郷地区周辺の歴史を中心に紹介し、地域の歴史に興味を持っていただけるよう実施しています。

第1回目は、諏訪神社を起点に木野子周辺を散策し、山野草や里山、古木などを観察しました。

第2回目は、蜜蔵院、熊野神社、寺崎城址など根郷地区の歴史散策を行いました。蜜蔵院薬師堂や、熊野神社の板絵馬「龍図」の話などを聞き、地域にまつわる歴史散策になったと思います。

第3回目は、JR佐倉駅周辺や佐倉城址跡を散策しました。JR佐倉駅は、明治27年市川、佐倉間に鉄道が開通し佐倉の表玄関として誕生した話などを聞きながら、佐倉城址跡に向かいました。ここには、堀田正睦公とタウンゼント・ハリス氏の銅像があり、今年度は日米修好通商条約締結150周年にあたり、2人の功績の話聞くことができました。

参加者からは、地域の歴史や地理が良くわからないので、今後も、講座を続けて頂きたいなどの言葉を頂き、公民館では郷土史を学ぶことで地域を理解していただけるよう、講座を継続していきたいと思っています。

4 . 高齢者教育事業

寿 大 学

開設趣旨 現在、激しい社会変動の中で高齢化社会を向かえている。このような社会情勢の中で高齢者が充実した生活を過ごす為には、健康維持・生活文化・地域問題などについて情報収集し、学習する必要がある。寿大学は、こうした学習や情報取得・意見交換の場としての提供を、目指しています。

対 象 60歳以上の市民 120人

学習目標 高齢者が生きがいを持って充実した生活を過ごせるよう、健康維持、生活文化、地域問題などについて学ぶとともに、互いの交流をはかる。

開催期間 平成19年5月18日から平成20年3月21日まで

学習プログラム

回	月日(曜)	学習テーマ	学習内容	主な講師
1	5.16(金) 9:30-12:30	開 講 式 オリエンテーション	1年間の予定説明等	館長他
		班 編 成	班の確認と、 運営委員の選出等	
		佐倉を知る	郷土関係の映画鑑賞 ・佐倉茶 ・わが人生 竹細工	
2	6.20(金) 10:00-12:00	きちんとした食事	60歳からの食事	栄養士 六崎 美知代 氏
3	7.18(金) 10:00-12:00	音楽コンサート (見学会申込締切)	音楽を楽しもう	アルページオ ギターサークル
4	9.19(金) 8:00-17:00	社会見学 (自由参加)	大宮方面	鉄道博物館見学
5	10.17(金) 10:00-12:00	軽 体 操	楽しく体を動かし リフレッシュしよう	高齢者福祉課職員
6	11.21(金) 10:00-12:00	ライフプラン	ライフプラン	千葉県金融公庫アドバイザー 齋藤 喜代美 氏
7	12.19(金) 10:00-12:00	名 画 鑑 賞	上映作品 「にあんちゃん」	
8	1.16(金) 10:00-12:00	佐倉市の歴史と町の 風景	日米修好150周年	中央公民館館長
9	2.20(金) 10:00-12:00	健 康 増 進	長く健康を保つための 予防とリハビリ	高齢者福祉課職員
10	3.13(金) 9:30-12:30	時 事 問 題	講義と閉講式	NHK千葉放送局職員

講座を終えて

寿大学は、根郷地区以外の参加者も受け入れ、高齢者の交流の場としての役割を中心とし、10回の講座を実施している。また生涯学習の観点から卒業をなくしいつまでも学ぶ姿勢を重視している点も寿大学の特徴である。

プログラムの編成や企画なども、受講生の意見を参考にし、受講者の代表からなる寿大学運営委員会の意見を聞き、決めていくのも特徴の一つである。

この様に自主運営方法を取り入れ11年が経過し、結果が徐々に実ってきているように見える。授業の欠席者も少なくなってきたように感じるとともに、カリキュラムも健康と歴史、文化を中心に組み立てられるようになってきた。

今後も、高齢者の交流の場を維持しながら、健康を意識した寿大学の実施にさらに努めていきたい。

また忘れてはいけません。『寿だより』の発行も受講生自らが編集委員会を結成し、取材・編集をこなしパソコンを活用して発行しており、公民館としてもその活動維持に努めていきたい。